



Bブロック全作品と講評

土

www.columnland.net

B-1

下で眠っている人がいます。お静かに。

土

東工高校球児新聞

二〇一四年
四月一日刊行
春の特別号

高校球児新聞特別企画

甲子園の土の活用法

〳〵あの魅惑の土が秘めるものとは〳〵

甲子園の風物詩とも言える「土」。敗者が持ち帰ることと有名ですが、この土はどのようにして使うのでしょうか？ 筆者の独自のリサーチによって分かった活用方法を三つ紹介したいと思います。

1 キーホルダーに

こちらは有名な方法だそうです。小瓶に詰めてキーホルダーにして持ち歩くことで周囲への自慢も簡単に行うことが可能の上に、お守りとしての効果も期待できます。また、最近の研究で、土が持つ微弱な磁場により人が無意識のうちに近寄ってくることもわかっています。甲子園の土を持ち歩けば君も人気者になること間違いなし！

2 畑の土に

一般には知られていませんが、甲子園の土には栄養

がたくさん含まれている上に水はけが良かったため、栽培にうってつけなのです。こうして育てた野菜を食べれば甲子園のエネルギーを吸収できるため、勝負事の前ゲン担ぎとしても知られています。また、この方法によって、一か月で体重を3キロ落とし、見事な肉体を手に入れた人もいます。

3 オークションで売る

せっかく持ち帰った土を売るのが、と思われる方もいるでしょう。しかし、甲子園の土は持ち帰り放題。たくさん持ち帰ってしまえばいいのです。オークションに出せば万単位の儲けを出すことができます。筆者の知り合いにも土を売ってお小遣いとは言えないほどのお金を稼いだ人がいます。

このようにして、土はいつでもたくさんの利用方法があるようです。この記事を読んで甲子園の土が欲しくなった人もいますのでは？

部員募集中

この記事を読んで甲子園の土に興味を持った人はぜひ野球部へ！ 土には興味が無いけれど甲子園に行きたい人でも構いません。練習は週4日ととてもハードですが、その練習を乗り越えたときには言い表せないほどの達成感を手にすることができます。甲子園の土を手に入れることも夢ではないでしょう。少しでも興味を持った方はぜひ練習見学にいらしてください。ぜひお待ちしております！

『圧倒』

「今日は、小さいが価値のあるものについて発表してもらいます。では最初の人、お願いします。」

最初に発表する人が前に現れ、小さな瓶を机に置いてから発表を始めた。

「僕が持ってきたものは甲子園の土です。この土は大学生の兄からもらったもので、僕の宝物です。兄は甲子園一回戦で敗れてこの土を僕に託してくれたので、その思いに恥じないように甲子園で優勝できるように努力します。これより小さくて価値のあるものはないと思います。これで発表を終わります。」

「素晴らしい発表ありがとうございます。では次の人、お願いします。」

次に発表するものが前に現れ、意外にも前の人と同じような瓶を机に置いて発表を始めた。

「砂金です。」

土と塵

夢と希望を

舞い上げる

春一番を

愛でる春かな

「土埃り」

いつも踏まれてばかりで、

自分がつけば「負け」扱い。

雨が降れば名前が変わって、

ひとと遊ぶと「汚れ」扱い。

たまに気分がよくなった時、

風で舞ったら「痛い」って。

ねえ、ちよつと言い過ぎじゃない…？

僕がドシャツと泣き崩れたら、

大変なことになるんだからね？

「土を怒らせてはいけない」

暑い夏の日

涙をこらえつ

手を伸ばす彼ら

足下に広がる

思い出の一ページを拾う

甲子園を去る士たち

今を遡ること五百年前、地球の気候は乱れに乱れ、人類は故郷の星を出ることを余儀なくされた。わずかに残った人類は人工衛星に改良を加え、もはや宇宙船と言っても過言ではない気象衛星「ひまわり五七号」に乗り地球を旅立った。

「ねーねーお母さん、なんでこの船はひまわりって言うの？」

「それはね、私たちが地球に暮らしていた頃にはお花というものがあって、その中にひまわりっていうのがあったのよ。お花っていうのはとてもきれいなんだけど、……ひまわりではどうしてもお花をつくることが出来なくてみんな写真でしか見たことがないの。私たちが普段食べている種から作るという伝承があるんだけど、何かが足りなくてつくれないらしいの。私も見てみたんだけどね……。」

「そっか……そうだ！ 私大きくなったらお花つくる！ お母さんにもひまわり見せてあげるよ！」

ひまわりを実際に見てみたい、その一心で私は数十年の時間を生きてきた。この環境では二十年生きるのすら難しく、母が亡くなったのはもちろんのこと、私はもはや船の中では一番の高齢者となっていた。

私の生きる間に研究が進み、花を育てるには種の他に水と光、それに土と呼ばれる物が必要ことが分かっていた。電気や化学反応で簡単に作り出せる光や水はともかく、土がない私たちの世界ではどうしても自力で花を育てるのは出来ないようだった。

母も亡くなって長い年月が経ち、諦めかけていた頃にそれは唐突に起こった。

「住めそうな星が見つかったぞー！」

艦長の声が船内に響く。私たちは住めそうな星を見つけてはそこで生活するのを繰り返してきたそう。星が見つかるのは私が生きてきて初めてだが、どんな所なのだろうか。どうやら土のある世界のようなが……。

今まで一度も開かれることのなかったハッチがあけられ、その星への道が現れた。我慢の出来ない私は真っ先に飛び出した。

ああ、これが、花なのか……。

その圧倒的美しさの前には何の感想も無意味に思えた。一面に広がる黄色と緑の世界。光は穏やかに差し、風はゆったりと花を揺らす。その中でひまわりは大輪の笑顔を咲かせていた。今まで生きてきてずっと待ち望んでいた景色がそこにはあった。

土がある世界というのはこんなにも違うものなのか。私たちの研究はなんだったのかというくらい、沢山のひまわりがあった。過去の文献に母なる大地というものがあつたが、なるほどこれを見ると全てのものの起源は土というのも納得出来る。

事前の調査によると、この星は過去に核戦争があり、生き物は皆滅んでしまったらしい。それで放射能を浄化出来るひまわりだけが生き残って成長していったようだ。

お母さん、見えてる……？ これがひまわりだよ。お母さんが憧れていた世界だよ。

私はその地への一步を踏み出した。

『ひまわりのふねとひまわりのほし』

春には花がきれいに咲いて

夏にはたくさんの野菜がなり

秋には美しいもみじが色づき

冬には白銀の雪化粧

そんな四季のうらで

春には花をしつかり支え

夏にはおおきな野菜をそだて

秋にはもみじをうけとめ

冬にはいきものの寝床になる

下をむくなというけれど

そんなけなげなものがあるなら

たまには下をむいてしまっても

いいんじゃないかなと思った

コンテスト結果

[Aの部]

コ ラ ム 番 号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	(株)アルカリ土類金属販売	20 pt	1 位	4 sp
		<p>まさかのアルカリ土類。いきなり超コアなところを攻めてきて、TAさんともども感嘆です。 ネタをただ投げて終わるのでなく、類似品注意などていねいにつくりこんであるエンターテナー精神も◎。 みごと初回の首位を攫い、最多特別賞も受賞しました。 おめでとう!!! 特別賞：東工大らしいで賞（ザ・理系な感じのコラムだったから）ノーベル化学賞（着眼点が面白い。理系こじらせてる所が良い。） 1等賞（全員一致の1位。完全勝利だったから）東工大生で賞（東工大生しかわからない） イチオシフレーズ：「類似品にご注意ください」</p>		
A02	人類の乳離れ	1 pt	8 位	0 sp
		<p>いきなり論説体に挑んだファイティング・スピリットに乾杯。かっちり詰めるのでなく、ムチャな飛躍を承知で、ぽんぽんぽんとなつなげて、豪腕で結論を導こうという作戦だったのでしょうか。書き慣れてますね。 イチオシフレーズ：「それは単純に邪魔だからだよ。」</p>		
A03	土と唐揚げ	17 pt	4 位	0 sp
		<p>ものものしい文体で引っ張って引っ張って、すこーんと唐揚げオチ。軽快に決まりました。一人称視点の工夫が光ります。 タイトル、ネタバレてしまうので要工夫。 イチオシフレーズ：「今なら大丈夫だ……誰も見ていない」「僕は落とした唐揚げを拾うのを止めた。」</p>		
A04	無題（冬風よ）	3 pt	7 位	2 sp
		<p>しょっぱなから短歌とは攻めますね～。フォント選びもナイス。 冬に何か悲しいできごとがあったのでしょうか？ いろんな想像を誘います。 特別賞：風流で賞（日本人を感じる）黒歴史賞（なんか格好いいフレーズを並べてるだけな感じ）</p>		
A05	無題（世界から土が消えた）	5 pt	6 位	1 sp
		<p>土にちょっと挨拶して、そのあとは田中君へ。 別に何やったっていいわけだよね、という開き直りの論理がすがすがしい自由奔放展開でした。 特別賞：土、関係ないで賞（お題、何でもよくないですか） イチオシフレーズ：「いつ消されるかわからないこの世界で、臆病になっている暇なんてない」</p>		
		18 pt	2 位	3 sp

A06	無題（ファーストキスは）	とぼけた口調で幼児体験暴露。笑いました。 そしてまさかの実話カミングアウト。満場びっくりです。おめでとうシルバー・メダル&イチオシフリーズ大賞!!! 特別賞：悲しくなるで賞（悲しいから） おもしろかったで賞（とてもおもしろかったから） 注賞（チューしように聞こえたから） イチオシフリーズ：「ファーストキスは土の味」×5
A07	もし平賀源内がバレンタインデー商法を編み出していたら	18 pt 2 位 3 sp わあお。土用のウナギからここまで展開してきましたか。チョコ転じてウナギ。その落差に笑いつつ、ストーリーにもきっちりオチが付いて、まことにおみごとなお点前で、おいしくいただきました。 おめでとうシルバー・メダル!! 特別賞：笑ったで賞（内容がユニークで面白かったから） ウナギ賞（すごくウナギ） 我らが思った"土"と違うで賞（よく思いついたなー） イチオシフリーズ：「もし平賀源内がバレンタインデー商法を編み出していたら」略して「もし平」「義理ウナギ」×2 「——ほれ、ウナギだ」
A08	土にかえる	8 pt 5 位 2 sp 一步一步踏みしめてきて今がある。 自らの成長プロセスを振り返って確認したくなるような、しみじみテイストのAブロック今週の読み納めでした。 特別賞：Theまともで賞（他がネタにはしっているなかで、一番コラムっぽい感じだったから） まじめで賞（恥を捨ててがんばった感じがよい。人生が土とともにあるというメッセージがいい感じ） イチオシフリーズ：「一步一步踏みしめていく道」

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	無題(お静かに)	31 pt	1 位	0 sp うわーこわっっ！な今週の表紙です。 桜の木のもとだったら、より怖い。 シンプルにシンプルに、これ以上ないくらいに情報を削ぎ落として、ひと思いにグサッ！みごとヒットして初回の覇者に輝きました、おめでとう!!! イチオシフリーズ：「下で眠っている人」
B02	東工高校球児新聞	0 pt	6 位	2 sp なるほど新卒の部員募集法ですね。手が込んでるなあ。しっかり楽しめました。 えーっ！こ、こ、これがゼロポイント！？と結果にTA一同啞然です。秀作すぎて伝わらなかったのかなあ、ぜひ読み返してみて、とのこと。 なお、今回はTAさんがギリ・セーフにしてくれましたけど、ウチワ＝コード違反ととられかねない「東工」は避

		<p>けたほうが賢明です、みなさま。 特別賞：こってるで賞（頑張って考えられた作品だから） 熱いで賞（入部したくなる）</p>
B03	圧倒	<div>13 pt4 位3 sp</div> <p>砂金です——ラスト 1 行のインパクトが巨大で、みごとに高校球児をすこーんと吹っ飛ばしていただきました。そのインパクトで圧勝のイチオシフリーズ大賞です、おめでとう！ 特別賞：金賞（「砂金です」がきばつでいい） オチががんばれ賞（オチがあまり面白くないから） 価値が違うで賞（独特の雰囲気があったから） イチオシフリーズ：「砂金です。」×10</p>
B04	土埃り	<div>0 pt6 位0 sp</div> <p>埃っぽい短歌ですね～。 「春」という言葉が重なったり、短歌のお作法は無視の産物だけれど、ちょっと前の春一番を思い起こさせて、季節感◎。</p>
B05	土を怒らせてはいけない	<div>26 pt2 位1 sp</div> <p>「ドシャ」のコミカルな語感に大爆笑です。ぽんぽんぽんと軽快に言葉遊びジャブを繰り出しつつ、ドシャ。構成の妙、おみごとでした。おめでとうシルバー・メダル!! 特別賞：惜しかったで賞（同点で 4 位だったから） イチオシフリーズ：「ドシャっと」「ドシャっと泣き崩れたら」</p>
B06	甲子園を去る士たち	<div>0 pt6 位2 sp</div> <p>土とともに去る士たち。球児たちの熱き思いとともに、ラストにさらりと入れた工夫が好印象。 特別賞：優賞（土じゃなく土にしたから） 甲子園賞（景色が思い浮かぶ） イチオシフリーズ：「甲子園を去る士たち」</p>
B07	ひまわりのふねとひまわりのほし	<div>4 pt5 位5 sp</div> <p>いきなり力作ですね～。 宇宙を旅するひまわり号。待って待って、何世代も待って、やっといちめんのひまわり畑へ、きれいに着陸しました。文学賞総なめで最多特別書受賞です。おめでとう！ まあ、去年のコラムキングダムでめいっぱい修行を積まれた上級者さんですから、別格と思ってやってくださいませ。 3 文字の通り名で呼んで差し上げると喜びます、たぶん。 特別賞：長いで賞（長いから） がんばったで賞（長い。感動） がんばったで賞（長くて読むのが大変だったけど深く感動する） 直木賞（感動した） 芥川賞（文学的にすばらしい。書いた人の性別を知りたい）</p>
B08	無題(春には花が)	<div>16 pt3 位2 sp</div> <p>四季それぞれに呼応して、土の四季。地味けれども頼もしい。ナイス観察眼で、今週の読み納めでした。たくさん共感呼んでブロンズ・メダルゲットです、おめでとう！ 特別賞：詩人賞（春夏秋冬の使い方がよいから） にわかで賞（きれいごとをかきやがって）</p>

イチオシフリーズ：「たまには下を向いてしまってもいいんじゃないかなと思った」